

平成 27 年 10 月 25 日（日） 鶴山台南校区 タウンミーティング 参加者 54 名

【市長との意見交換】

市民： 鶴山南校区において、大きい人口の割合を占める単位町会の 1 地区から 8 地区の UR 賃貸住宅の空き家問題について、これが地域活性化と密接な関係がある。地域の皆様と細かに議論ができてなく、細かい数字はあげてないが、非常に空き家が多い。当然若い人の入居もなく、鶴山南校区全体においてかなり高齢者の占める割合が多くなり、年間行事を実施するのも高齢者の集まりだけでせざるを得ないという現状がある。

そこで賃貸住宅に若い人に入ってもらいたい。地域の活性化のために若い力が必要であり、若い人に魅力のある UR の賃貸住宅とは何か。UR の入居者増進の対策を UR に対しての働きかけが必要である。そのためにも行政と UR と地域が連携して、若い人が入居したいと思えるような魅力のある賃貸住宅に向けた働きかけをしていく必要があるのではと思う。

今、各自治体、人口を増加させることに重きを置いて行政をしており、和泉市の人口増加につながる。鶴山台南校区としても活力あるまちづくりに繋がってくる。UR も入居者の増加に向けて、もう少し頑張れば収益がアップするのではないか。自治会は若い会員が増えるという期待が持てる。それぞれのいろいろなメリットの追求に繋がる。

UR は事業を今後どういうふうに進展推進していくのか。自治体と UR が共同関係の中で賃貸住宅に入居を増やすための方策を取り組んでいる地域もあると聞いている。成果を上げている実例もあるので、自治体と地域が一緒になって、その方策を考えていけたらと思う。

市長： 高齢化、少子化、人口減少。和泉市に限らず、日本全体の課題。他市で UR と自治体が共同してというのは、具体的には。

市民： 京都市でしている。

市長： 調べてみる。UR も 29 歳以下と子育て世代に 1 割引きということはして頂いてるが、なかなか若い人が増えない。UR 入居率については、2 割から 3 割の空き家があるところ。自治会の加入率は低いようで、2 割位。人間関係が希薄になっているので、実態がつかめないというところがある。高齢化、空き家増加の問題は、光明台、青葉台、緑ヶ丘も高齢化が進んでいて、40 年くらい前に街びらきしたところは、高齢化率が和泉市全体は 23%位、そういうところは 30%半ば位で、いろんな自治会が高齢化で活性化していけていない。

その中で全体的な取り組みは進めていきたいと思っている。若い人に住んでもらえる方策や、空き家対策など人口増を提案して頂いているが、日本全体が人口減ってきている。和泉市は増えているととらえられているが、増えているのは、はつが野などの大きな開発をした地域だけで、全体としてはどことも減っている。人口が

減るとするのは、子どもを産む世代の20～39歳が少なくなる。これから20年間で1歳から19歳の人をスライドして子どもを産む世代として、出生率が同じとした場合、出生率1.8を目指しているが、それでも増えない。人口を増やすことに目を向けると難しい。

私自身は、地方創生の中で数の問題ではなく質の問題で、街を活性化していくべきと考えている。一人一人が豊かさ、地域のつながりを感じられる街づくり、高齢者は元気。若い人は家賃が安ければ入るのか、保障したら入るかということもそんなこともない。はつが野地域は子育て世代が多く、この間27戸URが分譲した家土地で5千万6千万円、結構高いが、27戸売れて子どもは0歳児から中学生まで40人なので発生率、子どもが1.48で、普通は高くても0.5が子供の全体の数なのだが、非常に子育て世代に人気がある。若い人が何に魅力を感じて引っ越していくかということに目を向けないと、家賃が安いからとかだけでは足りない。URでもやっていると思うが。

市民： テレビ見ると、京都は学生が多い。

市長： たとえば和泉市には桃山学院大学があるので、学生に安く入っていただけるような仕組みなどを考えるとおもしろい。

市民： 北信太の駅前開発はもう希望できない。個々に入居したところにはバスも駅前から通るとか夢もあったが、駅前の開発はあきらめている。若い人は安くなったらと思うが、高齢化でそういう年齢層に合わせた鶴山台地区を考えてほしい。泉大津や光明台へ行く交通の便が非常に悪い。若い人で車があれば便利だが、80、90の高齢者はバスをもっと安く有効に使える施策を考えて欲しい。南海バスは高いので100円にしたらもっと利用がある。めぐーるは便利なようで高いし、非常に時間がかかり、高齢者が動きやすいように考えてほしい。だんだん陸の孤島のようになっている。若い人はスーパーの近いところに集まる。

市民： 今、シティプラザに行くのにもバスの便がない。市役所が中央に移転すると、アクセスを考えて、コミュニティバスを頻繁に中央まで出すなどそういうことも考えてもらわないと、活性化もできない。市役所も遠くなる。アクセスを十分考えてほしい。

市長： コミバスは運行しても昼間も空気を運んでいるのかという状況があったり、十分に利用されていない。確かに値上げしたので高いというご指摘もある。基本的にコミバス（めぐーる）は路線バスが走っていないところしか走らせないようにしている。高齢者の方も利用されているので、公平感を出すためコミバスと南海バスと合わせて運行している。堺市がいろんな新しい取り組みをやっているんで、今研究しているところだが、財政的に豊かな中でコミバス走らせているわけではないので、やりくりして、知恵を絞りながら、すぐに拡充はできないが、できるだけ少ない経費でより効果的なコミバスの運行の方法、その他路線バスの活用も考える。

市民： 狭山市のコミュニティバスは非常に多くて 100 円。車体の色を変えて花柄にして、きれいにして、バスに小学生幼稚園生が手を振るぐらい。

市長： 狭山のバスは一度乗ってくる。和泉市も黄色のいい色ではないか。

市民： 南海バスは駅から離れているが、駅前に行くには道幅が狭いのか。バスターミナルがないからか。バスターミナルと考えると、今、空地になっている所があるが、市が買収する考えはないのか？

市長： 駐輪場のところか。計画には一応かかっている。きちりとした計画ではないが、ずいぶん前に北信太駅前線を整備し、駅まで道を通そうという計画があった。今でも駅前にロータリを作るならその道を通そうという考えがあり、信太校区の方からも要望頂いて検討している。

市民： バスを通すには道幅が狭い。

市長： バスは通れない。危ない。警察の規制があるので、7～9 時は本来車は通れない。駅前の整備については、危なくて不便と認識している。すぐには取り掛かれる事業でないが、北信太の駅の整備については議論している。駐輪場を車のロータリにできるのかと。駐輪場も老朽化して建て替えないといけませんが、つぶしてしまうと駐輪スペースがなくなるので、また放置自転車問題が出てくるという懸念があり、どうやってその辺を解決するか議論をしている。また校区の役員や市会議員を通して情報提供させていただきたい。

市民： 電車の便とバスの便の連絡がよくなれば、通勤に便利になると人が増えると思う。

市長： おっしゃる通り。交通の利便性は大きなウェイトを占める。駅前開発に 30 億円くらいかかる。とくに大きいのは物件費の補償費、土地を売ってくれるかどうか、補償をすれば売ってくれるとかではない。同意を得るための努力も必要で、一番公共事業で時間かかるのが用地買収。その計画が立てば、前向きに取り組んでいきたい。